

取扱説明書

株式会社 和工

お客様へご注意

- お買い上げいただいた腕時計は、本体、金属バンド又は皮革バンドが直接肌に密着しますので、場合によっては金属アレルギーや皮膚のかぶれを起こすことがあります。その時はただちに使用をおやめ下さい。
- 時計をかけた腕で身体をこすったりすると身体に傷をつける場合がありますのでこのような行為はおやめ下さい。
- サウナ風呂など高温の場所で使用すると火傷をすることがありますので使用をひかえて下さい。
- 時計をしつまま激しい運動をしますと、それが原因で時計が破損して怪我をする場合がありますので運動時の使用はおやめ下さい。
- 万一、時計を落下して破損した場合は速やかに、破損片をかたづけ下さい。お子様が部品を飲み込んだり、思わぬ怪我をする場合があります。
- 汗、及びほこり等に依り衣服の袖口が汚れる事があります。(時計のお手入れ方法を参照下さい。)
- 時計は、潜水用ではありませんので潜水時の使用はおやめ下さい。
- 時計を改造して使用した場合の怪我等については、保証をしかねますので予めご了承をお願いします。
- 誤った使用によって怪我をした場合の保証はしかねますので予めご了承願います。
- 時計の時間遅れの原因となりますので、健康器具(磁気)等との併用はお避け下さい。

保証規定

- *保証期間に正常なで使用状態で、万一故障した場合には無料で修理・調整いたします。
- *つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - (イ) 誤ったご使用や、不注意による故障または損傷。
 - (ロ) 不適当な修理や、改造による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、水害または地震など、天災地変による故障または損傷。
 - (ニ) ご使用中に生じた外観上の変化。(ケース、ガラス、バンドの小キズなど)
 - (ホ) 保証書の字句を書き換えられた場合。
 - (ヘ) 保証書の提示がない場合。
- *革バンド・合成樹脂バンド及び電池などの消耗品は保証の対象外になります。
- *修理のとき、ケース、文字盤、針、ガラス、バンドなどは、一部代替部品を使用させていただく場合もございますのでご了承ください。
- *本保証書は明示された保証期間及び保証条件に従い対象製品に対して無償修理をお約束するものです。
- *当社宛郵送又は輸送の際の料金は、お客様にてご負担願います。
- (注) 誤った使用とは非防水時計を水中に入れた場合、高温または低温のところにて時計を置く場合などの使用状態を言います。

- ① 製品の特徴 ※自動巻機付です。
※表、裏スケルトン。

② 製品仕様

キャリバー	振動数	石数	精度日差	持続時間(全巻上げ)
三針	21,600振動 時間	20石	±60秒	180°(半回転)で70回以上 約35時間

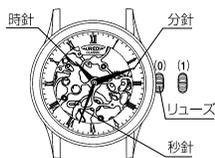
- *精度日差は常温において、ぜんまいを全巻にし、時計を上向きで静置した状態で、24時間経過した時の日差です。
- *自動巻機械時計の特性上、ご使用になる条件(携帯時間・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ具合等)によっては、携帯精度の範囲を超える場合があります。
- *製品仕様は改良のため予告なく、変更する事があります。

③ 自動巻きの機構について

- この時計は自動巻機械時計です。
- ぜんまいは時計を腕に付けた状態で通常の腕の動きで自然に巻くことができます。
- 止まっている時計をご使用になる場合は、リューズを右方向に20~30回転以上回して下さい。進針を開始しますので秒針が動き始めたら時刻を合わせて下さい。
- この時計は、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態で約35時間動き続けます。ぜんまいの巻き上げが不足すると進み遅れの原因になりますので、精度を保つために1日8時間以上携帯することをおすすめします。

④ 各部の名称(右図)とはたらき

- リューズを右図(0)の位置で右方向へ回しますとぜんまいの手動巻き上げができます。
※ぜんまいを手動で巻上げる場合は20~30回巻上げてからご使用下さい。
- リューズを1段引き右図(1)の位置で時刻合わせ(針回し)ができます。



⑤ 時刻の合わせかた

- *リューズを(1)の位置まで引き出します。(秒針は止まりません)
- *リューズを回転させ時刻を合わせて下さい。
- *合わせたらリューズを通常の位置(0)まで押込んで下さい。

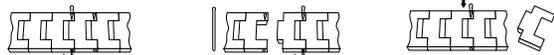
⑥ バンドサイズ調整方法について

1. スライドタイプ



左図のように中板の穴の中にドライバーなどを差し込み、中板を開けますと、サイズ調整が容易にできます。なおスライダーの位置を決める時は、バンド裏側のミゾ又は谷にスライダーの凸部を確実に入る位置に合わせて下さい。

2. ピンタイプA



- 裏面の矢印方向へ側面の接続ピンを千枚通しのようなもので押し出し、ピンを抜いて下さい。
- 必要な分だけバンドのコマ抜き取り、長さを調整します。
- バンドをつないで、ピンを元のように安全に押し込んで下さい。

3. ピンタイプB



- 裏面の矢印方向へ側面の接続ピンを千枚通しのようなもので押し出し、ピンを抜いて下さい。
- 必要な分だけバンドのコマ抜き取り、長さを調整します。
- バンドをつないで、ピンを元のように安全に押し込んで下さい。

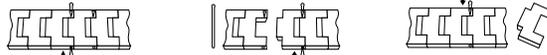
⑥ バンドサイズ調整方法について

1. スライドタイプ



左図のように中板の穴の中にドライバーなどを差し込み、中板を開けますと、サイズ調整が容易にできます。なおスライダーの位置を決める時は、バンド裏側のミゾ又は谷にスライダーの凸部を確実に入る位置に合わせて下さい。

2. ピンタイプA



- 裏面の矢印方向へ側面の接続ピンを千枚通しのようなもので押し出し、ピンを抜いて下さい。
- 必要な分だけバンドのコマ抜き取り、長さを調整します。
- バンドをつないで、ピンを元のように安全に押し込んで下さい。

3. ピンタイプB



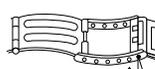
- 裏面の矢印方向へ側面の接続ピンを千枚通しのようなもので押し出し、ピンを抜いて下さい。
- 必要な分だけバンドのコマ抜き取り、長さを調整します。
- バンドをつないで、ピンを元のように安全に押し込んで下さい。

4. 板バネタイプ



- バンド本体裏のアジャスト穴にピンセット又は千枚通しのようなもので、矢印の方向にアジャスト板バネを押し出して下さい。
- 同様に、もう一方のアジャスト板バネを押し出し、不必要なコマははずして下さい。
- バンドをつないで、アジャスト板バネを元のようにパチンと音がする迄、完全に押し込んで下さい。

5. 三つ折れタイプ



上面サイドのアジャスト穴にピン等を差し込んで、なかのバネ棒を移動させバンドの長さを調整して下さい。

6. Xタイプ

- Aタイプ コマのはずし方
折曲げてある切り込みのすき間より脱着可能です。
- Bタイプ コマのはずし方
裏コマを表コマの大きい穴まで移動する事によって簡単に取れます。

7. ネジタイプ

- 小さなドライバーでネジをゆるめ、腕のサイズに合わせて不要なコマを取り外して下さい。
- サイズ合わせをしたらコマとコマをネジでしっかり止め、反対側に接着剤を一滴付けて下さい。

8. 三つ折れバックルタイプ



バックル本体とピン板が開いたら革バンドをその中に入れてお好みの長さに合わせてバンドの穴にピンを差し込みピン板を元の位置にもどしてしっかりと固定して下さい。

*バンドの調整方法に不明な点があれば、販売店又はサービスセンターにご相談下さい。

⑦ 防水性について

防水表示は強化防水(5気圧以上)と日常生活防水(1気圧~3気圧)の2種類があります。

- 強化防水は裏蓋にWATER RESISTANTと文字板が裏蓋に気圧表示をしてあります。(例:5気圧・50M、10気圧・100M、20気圧・200M)
- 日常生活防水は下図を参照願います。

*時計の内部には多少の湿気がありますが、外気が時計内部の温度より低いときにはガラス面がくもる場合があります。くもりが一時的な場合には内部に支障はありませんが、長時間消えない場合は、お買い上げ店、又はサービスセンターにご相談下さい。

用途は下図参照の事

タイプ	使用条件	● 一般的にかかる水流(洗車・雨等)	● 水泳・ヨット等の水上スポーツ・漁業・農業等の水仕事、水道の蛇口等強い水流	● 酸素ボンベを使用しないスキューバダイビング	● 水中でのリューズ操作並びに水滴の付いたままのリューズ操作
強化防水20~30気圧	○	○	○	○	×
強化防水10気圧	○	○	○	×	×
強化防水5気圧	○	×	×	×	×
日常生活防水	○	×	×	×	×
非防水	×	×	×	×	×

⑦使用上の注意事項

1、温度について

直射日光の当たる場所や高温または低温の環境下に長時間放置しないようご注意ください。故障の原因(遅れ・進み)や電池寿命の短縮につながるおそれがあります。

※特に-5℃以下または+50℃以上の環境下で長時間放置すると、動作不良の原因となります。



2、ショックについて

軽度のスポーツによる影響はほとんどありませんが、激しい動きを伴うスポーツの場合は破損やケガの原因となるおそれがあるため、ご使用をお控えください。

※床や道路などへの落下を含む激しい衝撃を与えることはお控えください。

3、磁気について

磁石や磁石付きの製品、磁力を発生する製品などには近づけないでください。

※磁気の影響で時刻がずれる場合は磁気源から遠ざけて時刻を修正してください。

必要に応じて磁気抜きを行ってください。

4、振動について

オートバイ・削岩機・チェーンソーなどの強い振動が加えられた場合一時的に遅れる原因となります。



5、化学薬品・ガス等について

ガス・水銀・化学薬品など(シンナー、ガソリン各種溶剤又それらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品等)に触れるとケース、バンド、文字盤の変色が生じます。

6、海水に入ったときのお手入れ方法

ケースについた海水を真水でよく洗い落としてサビが出ない様にしてください。又、洗った後は柔らかい布等でよく水分を拭き取ってください。怠りますと、ケース・バンドにサビが発生し腐食の原因となります。

⑧時計のお手入れ方法

●ケース・バンド

ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に接していますので、汚れたままにしておきますと、衣服の袖口を汚したり、皮膚の弱いかたは、かぶれたりします。汚れや水分はやわらかい吸湿性のよい布で拭きとり、常に清潔にしてご使用ください。また汗をかきやすい季節には、バンドを少しゆるめにつけ通気性をよくして下さい。



●金属バンド

時々やわらかい歯ブラシ等を使い石けん水で部分洗いなどをして下さい。(汚れたままにしておきますと、サビたり腐食してしまいます。)

※非防水時計は時計本体に水がかからないようご注意ください。



●皮革バンド

水分、汗、汚れなどが大敵です。吸湿性のよい布で拭いて、時計をはずしたあとは、風通しの良い所においてください。皮膚がかぶれる原因となります。



●点検のおすすめ

電池交換時または2~3年に1度の点検をおすすめします。保油状態・漏液の有無・汗や水分浸入の有無などを、お買い上げ店または、販売店で点検してもらって下さい。

点検の結果によっては、分解掃除を必要とする場合があります。

※そのときにバッキンやバネ棒の交換を御依頼下さい。

※部品交換のときは「純正部品」とご指定下さい。

